

授業科目

急性期看護学演習

【担当教員名】 荒木 玲子 栗原 弥生 渋谷 優子 新谷 恵子 阿部 勝子 石山 香織	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】
PBLでは、事例を使用し、急性期看護を自ら学習し、習得する。
急性状態にある対象の病態や生体反応を理解し、急性期にある対象に必要な看護援助の方法を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. PBLの学習方法により周手術期にある対象を理解し、アセスメントができる。
2. 急性状態にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を記述する。
3. 急性状態にある対象に必要な援助を説明する。
4. 具体的な援助方法を列挙する。
5. 急性期にある対象への看護の特徴とその看護目標を設定する。
6. 急性状態にある対象への看護過程が展開できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
			1～6 7～13 14

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定はない			
参考書	NANDA看護診断の基本的理解 黒田裕子 医学書院			
その他の資料				

【評価方法】 参加状況（20％）試験とレポート（80％）で評価する	【履修上の留意点】
--------------------------------------	-----------

看護学 専門